

## 坂根地区

(世帯数) 25戸 (男) 23名 (女) 32名 (計) 55名  
(7月1日現在・住民基本台帳より)

いつの時代から坂根と呼ばれ始めたのかは分かりませんが、この地が日谷尾や小井野を経て一字村に通じる起点となっていて、坂道の始まる場所として坂根という地名がついたと思われます。比較的古くからこの地は開けていたようで、今から700年ほど前の古文書「八田山文書」に「坂根堂(現在の奈良堂)」の名前が残っています。また、比較的せまい土地なのに、新田神社、古宮神社、八幡・秋葉神社、のぞき神社、奈良堂、大師堂、行者堂、権大師堂など多くの信仰の地が残っていることから分かります。

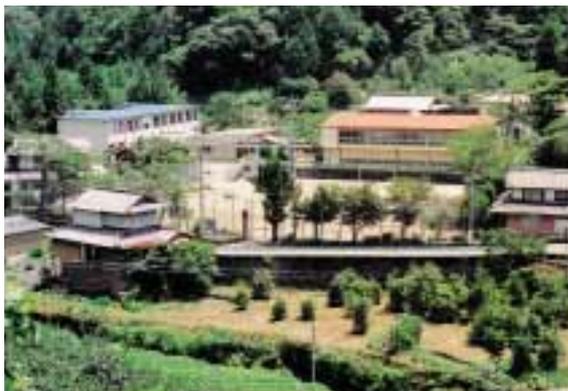
昭和63年3月に創立100周年記念事業を行った坂根小学校は、昭和33年には240名もの児童が学んでいました。現在は10名の全校児童ですが、音楽活動や花いっぱい活動、総合的な学習の時間を利用した地域伝統の継承活動と、地域を巻き込んだ特色ある活動に取り組んでいます。



▶坂根には、旧の呼び方で日浦じ、蔭じ、傍じ、田尾じ、岡の久保の5地域があります。写真は、日浦じから撮影。



▶法楽器の一種である鯉口(わにくち)、絵馬など貴重な文化財が残っている。「坂根奈良堂。」



▶坂根小全景。「坂道のきびしさこえて根気よく勉強しよう。」(坂根小校歌より)